

元気な鹿嶋は ビーチから 海岸活用シンポジウム

日時 2015年3月8日(日)
10:00~12:30

入場無料
定員(300名)

会場 大野ふれあいセンター 多目的ホール
鹿嶋市大字津賀1919-1 TEL 0299-69-1116

基調講演

テーマ

『元気なビーチとは。
~各地のビーチ活性化の歩み~』

海辺を持つ地域は、海辺を元気にすることに注目すべきだ。このような素晴らしい資源を最大限活用し、ふくよかな環境をつくることその地域の活性化に多いに繋がる。まさに、元気の源は海辺から、である。

講師：朝日健太郎氏
NPO法人
日本ビーチ文化振興協会
理事長



パネルディスカッション

テーマ

『鹿嶋の魅力を活かした
これからの海岸活用』

パネリスト

真田 仁氏/国土交通省港湾局海岸・防災課 課長
飯沼誠司氏/ライフセーバー
岡見正仁氏/鹿嶋ご当地アイドルプロジェクト代表
原 弘氏/NPO法人鹿嶋市体育協会会長
瀬川美枝子氏/日本子どもフィットネス協会
公認インストラクター
錦織孝一/鹿嶋市長

- 【主催】 鹿嶋市
【共催】 かしまビーチフェスタ実行委員会、(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団、
NPO法人鹿嶋市体育協会、NPO法人かしまスポーツクラブ
【後援】 国土交通省鹿島港湾・空港整備事務所
【協力】 NPO法人日本ビーチ文化振興協会

プログラム

10:00~	開会 主催者挨拶 鹿嶋市長
10:03~	基調講演 講師 NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長 朝日健太郎氏
10:30~	「鹿嶋市の海岸への思い」 鹿嶋市長
10:45~	功労者表彰(スポーツ関係)
11:00~	休憩
11:10~	パネルディスカッション

基調講演

講師：朝日健太郎氏(NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長)

テーマ 『元気なビーチとは。～各地のビーチ活性化の歩み～』

世界のビーチで活躍してきた、元プロビーチバレーボール選手朝日健太郎。その体感してきた着眼と知識で、日本各地の海辺活性化事業にアドバイザーとして活動している立場から、各地の事例を基に、これからの鹿嶋市の海辺をどのように活用していくか、鹿嶋市の特色をあぶり出し、皆で考える時間とする。



朝日健太郎 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長)

1975年熊本県生まれ。1997年法政大学時代からインドア6人制バレーボール日本代表になる。1998年サントリー入社。実業団Vリーグにて新人賞受賞。2002年インドアバレーボールからビーチバレーボールに転向。2004年「TOKYOオープン」にて悲願の初優勝を遂げる。2005年ジャパンツアー年間優勝。白鳥勝浩選手とペア結成後、国内大会9連覇を達成。日本代表としてアジア大会に選出。2007年国内ツアーで史上初の5大会完全制覇。2008年北京オリンピックに日本人男子として12年振りに出場し、9位に輝く。2010年広州アジア大会で銅メダルを獲得。2012年ロンドンオリンピックに出場を果たした後引退。2013年早稲田大学大学院社会人修士修了。「NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長」就任。現在は、全国の海辺を周年活用し、人と海辺の繋がりを復元するべく活動に従事している。また、「公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部長」「東京オリンピックパラリンピック教育を考える有識者委員」として、2020年東京五輪に向けて諸事活動をする。

パネルディスカッション

コーディネーター：朝日健太郎氏

テーマ 『鹿嶋の魅力を活かしたこれからの海岸活用』

今までの取り組みを各有識者により意見を交換し、これからの鹿嶋市の魅力をどうクローズアップして活性化に繋げるか、鹿嶋の特色とは、を議論する。また、津波による災害や水害には正しい知識を得る事が必要であるため、行政、ライフセーバーの立場からご意見をいただく。

パネリスト



眞田 仁

国土交通省港湾局海岸・防災課 課長

1986年に北海道大学大学院を修了し、同年4月北海道開発庁(現国土交通省)に入庁。国土交通省港湾局港湾計画審査官、北海道開発局港湾計画課長などにおいて、主に港湾の長期計画・企画調査業務に従事。国際業務では、外務省在バンガラデシ日本国大使館において1995年から3年間ODA業務に携わるとともに、フィリピン国運輸通信省(JICA長期専門家)に2007年から3年間勤務し港湾プロジェクト及び総合交通政策立案支援などに従事。2014年7月から現職。



飯沼誠司

ライフセーバー

1974年12月18日生まれ。小学校ではジュニアオリンピック、高校ではインターハイに背泳の選手として出場。東海大学入学後、ライフセービング競技の花形種目アイアンマンレースをメインに活躍する。大学卒業と同時にオーストラリアが主催するアイアンマンレースのワールドシリーズ「ワールドオーシャンマンシリーズ」に日本代表として選出、日本人ライフセーバーとしては初めてのプロ契約を果たす。その後、全日本選手権アイアンマンレースでは5連覇という偉業を達成。2006年「鶴山サーフクラブ」を立ち上げ、水難救助の第一線に立ち、海岸の安全と環境を保全する活動を行っている。



岡見正仁

鹿嶋ご当地アイドルプロジェクト代表
オカミ書店三代目
FMかしまパーソナリティー

平成24年8月、地域の活性化や商店街を元気にするために、鹿嶋市初のご当地アイドル「かしま未来りーな」の立ち上げに尽力。現在では、鹿嶋市のみならず茨城県内外へのイベントにも多数出演している。



原 弘

NPO法人鹿嶋市体育協会 会長

平成26年5月、NPO法人鹿嶋市体育協会会長に就任。ゴルフやフィッシングなどを趣味とするスポーツ愛好家で、鹿嶋海岸や北浦では子ども時代から水泳や貝採り、そして釣りなどに親しんでおり、自身にとって「夢のフィールド」である。これからは、様々なスポーツを通して、鹿嶋市の大きな魅力である海岸をアピールしていきたい。



瀬川美枝子

日本子どもフィットネス協会(JKFA) 公認インストラクター
公認クラブ クラリティ 代表
JPBA公認プロボディーボーダー

キッズから高齢者までフィットネス・ダンスを指導。2012年、JPBA公認プロボディーボーダー昇格。同じプロボディーボーダーの御主人と下津海岸や明石海岸などで練習、ボディーボードスクールを開催している。



錦織孝一

鹿嶋市長

鹿嶋町議会議員(3期)、茨城県議会議員(3期)を経て平成26年4月から現職。『教育力・福祉力・市民力・地域活力・未来創造力』の5つの力を「鹿嶋力」と称し、市政の基本に掲げ、鹿嶋市のより一層の発展と市民の皆様が「幸せを実感できるまち」の実現に向け、具体的な事業の展開に取り組んでいる。

氏名		電話番号 (自宅/勤務先/携帯を選択)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 携帯	—	—
連絡先住所	〒	—			
当日のご同伴者がいらっしゃいましたらお名前	お名前		合計人数		名
備考					

申込み・問合せ先

鹿嶋市 企画部 港湾振興室

TEL : 0299-82-2911(内線214) FAX : 0299-82-0789
e-mail : kouwan1@city.ibaraki-kashima.lg.jp